

登呂博物館リニューアルオープン 10周年
秋季企画展

水とともに 生きる

— 静岡平野のパイオニア —

平野の開拓者にもたらされた「水」の恩恵と災害の痕跡

令和2年

10月3日 (土) — 11月29日 (日)

開館時間 | 9:00—16:30

休館日 | 月曜日、祝日の翌日 (11/23 は開館)

観覧料 | 一般 300 円、高校・大学生 200 円、小中学生 50 円




〒422-8033 ☎054-285-0476

静岡県静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>

①赤彩壺 (登呂遺跡出土) 静岡市立登呂博物館蔵 ②丸木舟と棹 (登呂遺跡出土) 静岡市立登呂博物館蔵

 静岡市立登呂博物館

水とともに 生きる

—静岡平野のパイオニア—

2020

10/3(土)～

11/29(日)

弥生時代、平野部での稲作を中心とする農耕生活は、余剰生産による「豊かさ」や社会機能の発達などをもたらす反面、洪水被災などの「リスク」を持ち合わせていました。登呂遺跡の発掘調査では、大規模な水田経営のための灌漑（かんがい）設備や水の利用の痕跡、そして集落を飲み込むほどの大きな洪水の跡が確認されています。

今回の企画展では、大規模な治水が未発達な時代、水を巧みに利用しながら水田を発達させていく様子や、相次ぐ洪水被害を乗り越えて社会を維持・発展させていった様子など、弥生時代を中心とする遺跡における治水、水利等の人と「水」とのかかわり方をご紹介します。



井戸杵 原添遺跡出土 静岡大学蔵

関連イベント

登呂歴史リレー講演会

水を治める者たち ～水がつなく静岡の歴史～

静岡・清水平野における人と「水」とのかかわりの歴史を多様な視点で読み解く、全4回のリレー講演会です。

会場：登呂博物館 1階 登呂交流ホール

定員：50名程度

参加料：500円（全4回分）

申込み：登呂博物館（054-285-0476）へ

電話申込 10/1（木）～・申込順

第1回

令和2年10月11日（日）13:30～15:00

静岡の地形と地質の成り立ち

—静岡平野のおいたちと河川—

講師：柴 正博

（ふじのくに地球環境史ミュージアム 客員教授）

第2回

令和2年10月25日（日）13:30～15:00

平野を拓く

—弥生時代の稲作農耕集落の誕生と水田の開発—

講師：篠原 和大（静岡大学 教授）

第3回

令和2年11月7日（土）13:30～15:00

駿府のまちづくりと水にまつわる物語

—駿府用水と安倍川の治水対策—

講師：柴 雅房（静岡県地域史研究会）

第4回

令和2年11月22日（日）13:30～15:00

七夕豪雨と巴川、そして大谷川放水路の建設

—静岡、現代史の大プロジェクト—

講師：藤原 健史（静岡県静岡土木事務所）

フィールドワーク&レクチャートーク

環境をよむ ～自然との対話～

午前 / 登呂遺跡から海岸まで歩いて地形をよむ
午後 / 災害と環境についてのレクチャーと参加者を交えたポストトーク

日時：令和2年11月29日（日）10:30～15:30

会場：登呂博物館 1階 登呂交流ホール ほか

講師：鈴木 雄介（静岡大学【准教授】）

瀬戸口 明久（京都大学【准教授】）

定員：15名（小学5年生以上）

参加料：1,000円

申込み：登呂博物館（054-285-0476）へ

電話申込 10/1（木）～・申込順



登呂遺跡堰状遺構出土状況

展示解説

日程：10月3日（土）、11月1日（日）、11月28日（土）

時間：11:00～、14:00～ 30分程度

場所：登呂博物館 2階 特別・企画展示室

費用：無料（要観覧料）

申込：不要



舟形木製品 登呂遺跡出土 静岡市立登呂博物館蔵